

特別
対談

高齢者の魅力を発信し 介護職のイメージを変える

そのだ修光 × 上条百里奈

全国老施協常任理事・
参議院議員

モデル・介護福祉士



そのだ まず、介護職に就いた経緯をお聞かせください。

上条 中学2年生の時に職業体験学習で介護施設に行ったところ、施設で生活する高齢者の方々が、輝いて見えたのです。これを機に介護ボランティアを始め、高校時代にホーム

ヘルパー2級、短期大学で介護福祉士を取得し、就職しました。その後、モデルのスカウトを受けたことをきっかけに、モデル兼介護福祉士として日々を送っています。

そのだ 先日は朝の情報番組で介護現場の話をしたり、介護に関する質

問に答える姿を拝見し、驚きました。講演会も行っているそうですが、こういった話をするのですか。

上条 歳を重ねることはいいことで、高齢者一人ひとりには素晴らしい生き様がある。そんな方たちと一緒に過ごせる介護職は価値があり、魅力的な仕事だと伝えてい

ます。介護のイメージがネガティブなのは、高齢者に対するイメージが暗いからであり、それを変えることが大切ではないでしょうか。

そのだ 我々はいく「介護は貴重な仕事だ」「知識や技術を習得できる」といったアピールの仕方をしてしまいがちです。それだけでなく、介護の主役である高齢者の魅力をアピールしてイメージを一新し、介護職の魅力につなげていくということですね。

上条 先日、ある講演の冒頭で「介

護・福祉に興味がある人は？」と尋ねても3人しか挙手しませんでした。90分間話した後に同じことを聞いたら、ほぼ全員が手を挙げました。介護の魅力がきちんと伝われば、介護に対する見方が変わるとい

そのだ 高年齢者の魅力というのは大事な視点です。介護の世界に入って現場に立つと、大変ながらも価値の高い仕事だと実感する機会にも恵まれます。今後、上条さんには全国老施協の大会などにもお越しいただき、改めて介護の素晴らしさについて講演していただきたいと思

います。

上条 また、今はスマホアプリなどのテクノロジーを使えば、施設にいる入居者と家族が簡単につながることもできます。こうしたつながりを広めていく活動も大切だと感じています。

そのだ 施設で働きながらメディア対応、モデル活動と多忙なことと思いますが、ご活躍を期待しています。

さらに詳しく知りたい方は、ホームページにアクセスしてください。

そのだ修光

検索 または、<https://sonodashuko.com/>

公式LINEアカウント：

<https://page.line.me/psd1500s>

LINEの「友だち追加」より

友だち登録をお願いします！

